

研修会報告

令和 4 年 11 月 26 日

文 責： 尾池 裕子

研修会テーマ「2022年度宮臨技病理・細胞部門研修会

～細胞診の基礎（問題出題形式による細胞同定）～」

開催日時 2022 年 11 月 26 日（土） 13：00 ～ 16：00

会 場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司 会 小泉 照樹

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 30 名 入会申請中会員 0 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名 学生 0 名

合計 30 名

講演 1 「問題出題形式による細胞同定」

講演 2 「コロナ禍における細胞検査士資格認定試験体験談」

国立病院機構 仙台医療センター 佐々木 香穂 技師

講演 3 「問題出題形式による細胞同定 解答解説」

宮城県対がん協会 佐藤 しげみ 技師

東北大学病院 今野 かおり 技師

仙台厚生病院 尾池 裕子 技師

仙台医療センター 齋藤 邦倫 技師

東北公済病院 高橋 良輔 技師

東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹 技師

内容

続くコロナ禍により顕微鏡実習形式の研修会開催が困難とされることから、今年も同定問題出題形式の Web 研修会を開催した。

はじめに同定問題 33 問のスライドを投影し、事前に配布した解答用紙を用いて参加者各自で解答していただいた。その後、一問ごとに解答と解説を実施した。解説では、正解となる症例の細胞所見だけでなく、可能な限り鑑別症例の写真も交えて詳細に行うよう努めた。有資格者にとっては日頃あまり経験できない領域を含む全領域を網羅した細胞像の再確認に、これから細胞検査士を目指す者にとっては模擬試験として活用してもらえたのではないかと思う。

また、出題と解説の間には「コロナ禍における細胞検査士資格認定試験体験談」と称し、昨年の細胞検査士資格認定試験合格者である佐々木 香穂 技師にご講演いただいた。試

験の出題傾向や会場の様子、前年度までとの変更点、コロナ禍の受験における注意点について等、自身の経験を交えた講演内容はとても参考になるものであった。直近の合格者の生の声を聴けたことは、今年受験予定の者に対してはもちろん、後進の育成・指導を行う立場の者にとっても有益であったと感じる。

Web 研修会ではどうしても出来ることが限られてしまうため、試行錯誤しながらの開催であった。今後も会員の細胞診に関する知識向上および実力アップに繋がるよう、**Web** で行う際の最良な実施方法を模索しつつ、問題出題形式の研修会は続けていきたいと考える。